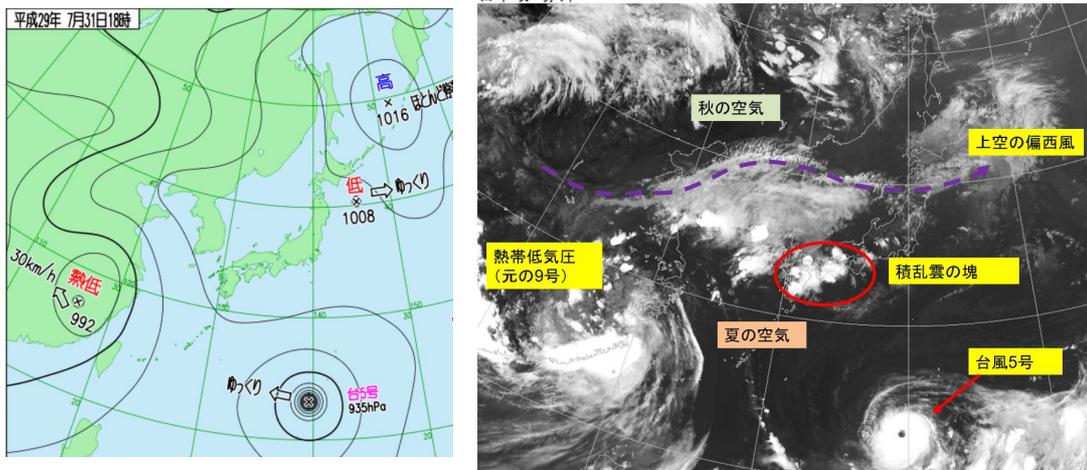


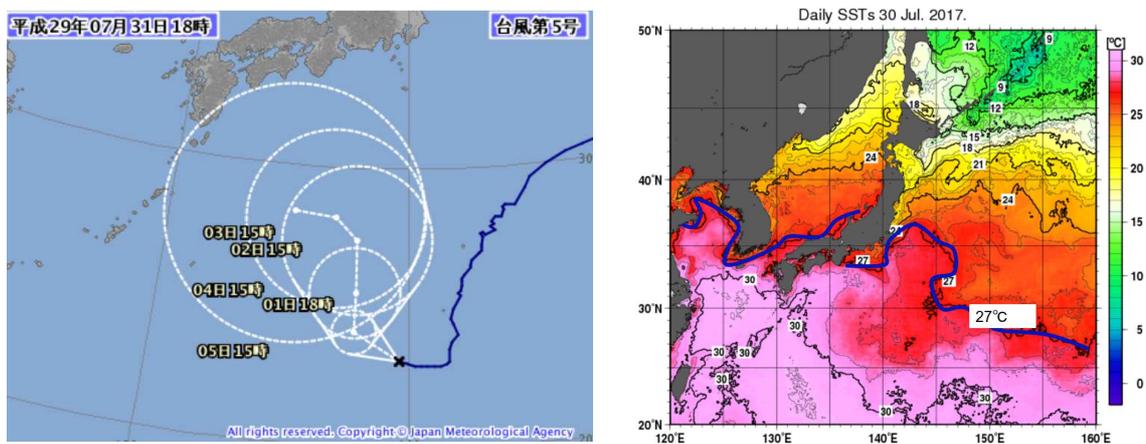
台風5号 ゆっくり北上

皆さんこんにちは。勉強カフェ本町会員の大黒と申します。気象に関するコラムを作成してみました。



上は今日（7/31）18時の地上天気図（左）と気象衛星画像（右）です。

注目の台風5号ですが、小笠原近海にあって、ゆっくり西北西に進んでいます。西日本は太平洋高気圧の圏内ですが、午後、西日本では所々で積乱雲が発生し、大雨警報の発表された地域もありました。実は、大阪府では7月11日から最低気温が25℃を下回らない日（熱帯夜）が続いており、地上付近は常に大気が湿った状態にあります。このような状態で地上気温が35℃近くまで上昇すると、大気の状態が不安定となっていわゆる夕立が多発します。夕立と書くと夏の風物詩的イメージに聞こえますが、そんな生易しいものではありません。天気予報に「所により雷雨」とある場合は、気象庁や民間気象会社のHPで気象レーダーこまめにチェックすることをお勧めします。



さて、今日（7/31）18時現在の台風5号進路予想です。一旦北上してまた西進する予想です。依然として進路は定まっていません。カギを握るのは上空の太平洋高気圧になります。既に太平洋側ではうねり等で波が高くなっていますので、海のレジャーは（台風が離れていても）要注意です。

ところで、注目したいのは台風5号に「眼」が出来ていることです。昨日はありませんでした。はっきりとした眼にきれいな円形の雲がみられます。台風が発達している証拠で、18時現在の中心気圧は935hPaです。昨日18時が980hPaですから、1日で45hPa下降の急発達です。この要因は海水温にあります。右図は昨日（7/31）の海水温ですが、日本の南海上は27℃以上です。TVの天気予報で聞いた人もいるかと思いますが、台風は概ね海水温27℃以上では発生・発達します。見てお分かりのとおり、台風5号は今後海水温の高い海上を進むことになりますので、益々要注意です。

もし、質問などありましたらスタッフまでお願いします。（直接、大黒さんにお尋ねします。）